

第29回日台原子力安全セミナーの開催について

(一社) 日本原子力産業協会

当協会では台湾との間で原子力安全に係わる情報共有・意見交換ならびに原子力関係者の交流を図るため、1986年以來「日台原子力安全セミナー」を毎年、日本と台湾で交互に開催しております。

福島第一原子力発電所の事故は、日本と同じ地震国であり、自然の脅威に絶えずさらされている台湾の原子力政策に大きな影響を与えました。台湾では昨年11月、既存の6基の原子炉に40年の運転期間を設定し、段階的に閉鎖することを発表していますが、台湾電力を始めとする原子力関係者は、エネルギーセキュリティの観点から原子力発電の重要性を認識し、龍門原子力発電所プロジェクトの続行に意欲的です。

当協会としましては、福島第一原子力発電所事故後の教訓と対策や安全対策、廃炉・除染等の取組について情報共有を図り、ひいては東アジアの一層の原子力安全向上に資するべく、今後も近隣諸国・地域との協力活動の一環として日台協力を進めていく所存でございます。

この度、昨年の日本開催に引き続き、第29回日台原子力安全セミナーを本年12月9日(火)～10日(水)に台湾にて開催することとなり、エネルギー政策、安全対策、廃炉・除染等の日本の取組について報告し、情報共有を図るため、以下のとおり原産協会代表団を編成・派遣することと致します。

記

1. 訪問日程：2014年12月8日(月)～11日(木) (4日間)
※セミナー後、テクニカルツアーを実施
2. 開催場所：台湾 台北市 エバーグリーン国際会議センター
3. 主催：日本側: 日本原子力産業協会
台湾側: 中華核能学会、原子能委員会、放射性物質管理局、核能研究所、台湾電力公司
4. 使用言語：日・中同時通訳 (*スライド: 英語)
5. 参加費(共通経費): 30,000円 (税別/人)

本件担当： (一社) 日本原子力産業協会 国際部 リュー、小野瀬
TEL: 03-6812-7109 E-mail: nittai@jaif.or.jp